



国分寺市議会議員

鈴木 ちひろ

もっと！
人に寄りそう
グリーンな国分寺へ



HPはこちら



2024年5月号 グリーンな国分寺ニュース vol.7

このニュースはグリーンな国分寺サポーターの手作りです。



note

鈴木ちひろ 国分寺 で検索

イスラエルによるガザへの攻撃が激化し、特に子どもや女性への被害が深刻です。現地の人々は、医療や食料、教育などの生きるために必要な権利がない状態です。世界各地で即時停戦を求める声に連帯し、「非核平和都市」「すべての人を大切にするまち」国分寺からあらゆる暴力や抑圧に反対する声をあげていきます。

ガザに自由と平和を

「気候危機対策やジェンダー平等を国分寺から進めたい」と訴え、2587票をいただいた当初選。あつという間に1年が経ちます。最年少議員として無党派「グリーンな国分寺」として、市民目線で活動してきました。

これまで要望してきた新庁舎の再生可能エネルギー100%新庁舎にマイボトル用のウォーターサーバー設置などが実現予定となりました。

しかし、PFAS汚染対策みどりを増やすこと、あたたかい中学校給食、パートナーシップ制度の拡充など、まだまだ課題は山積みです。

今後は「再開発」や「社会保障」など、公共の役割についての学びを深めつつ、スローで自然豊かな国分寺の魅力をも未来にどうつなげていくか、市民のみなさんとともに考えていきたいと思っています。

議員になり1年
人にも環境にも
やさしいまちを

2024年度からスタートする 注目の 新事業3選



過去最大の636億円の予算規模
3月は予算議会

- 女性や性的マイノリティが安心できる避難所
 - 2050年ゼロカーボンシティ実現
 - PFAS汚染対策の取り組み強化
 - プラごみの発生抑制
- について市長に質問した。

録画配信はこちら→



① 新庁舎の電力は 再生可能エネルギー100%

これまで公共施設（91施設）の電力の再エネ率はたった0.26%のみ。新庁舎オープンには2025年1月。再エネ100%実現となるか注目。今後は学校をはじめ他の施設も再エネ契約を進めよう。石炭火力発電や原発に頼らない公正でクリーンな発電のあり方を市がリードし、市民へパワーシフト（再エネ電力購入）への周知啓発を。

② フードロス対策を進めよう

まだ食べられるのに捨ててしまう食品を減らすため、市内の飲食店の廃棄直前の食べものをお得に購入できる取り組みが10月からスタートする。課題はテイクアウト時のプラスチック容器が増えること。マイ容器の持参を推奨し、エコで持続可能な取り組みを応援したい。

③ 空き家・空き店舗活用×創業支援

創業したい「こくぶんじカレッジ」受講生向けに、市内の空き家・空き店舗の活用をサポートする。空き家の紹介に加えて、家賃補助（月10万円×6ヶ月分）やリノベーション（50万円）の費用が予算に計上されている。250軒以上の空き家は年々増えており、活用に期待。

その他、20代からの乳がん検診、市の男性職員の育休率アップ、性別役割分業を助長しないジェンダー主流化の広報作り、学校の室温測定と断熱化などについて要望しました。

知っておきたい！ こくぶんじトピックス

お問い合わせは市役所へ 042-325-0111

1

住民税均等割のみ
課税世帯に7万円給付金



はがきが届くので手続き不要。対象者かもしれない方は問い合わせを。

2

低所得世帯
子ども加算8万円



住民税非課税世帯／住民税均等割のみ課税世帯で、18歳以下の子どもの対象。

3

自転車用ヘルメット
上限2000円補助



2023年からヘルメット着用が義務。エコで安全な自転車ライフを。

4

太陽光パネル
・蓄電池助成金



個人住宅・法人の建物には太陽光パネルや蓄電池を設置しましょう。

■連絡先

・住所：国分寺市戸倉1-6-1
国分寺市役所第1庁舎 グリーンな国分寺控室

・メール：chihirosuzuki311@gmail.com

「グリーンな国分寺ニュース」の郵送をご希望の方は右記のQRコードから→



■鈴木ちひろ プロフィール

1996年神奈川県藤沢市生まれ。日本語教師として赴任した奄美大島で環境問題に関心を持つ。有機農業の仲間から国分寺のオーガニックカフェ「カフェスロー」を紹介され、働くことに。都市農業や湧水、地域通貨がある国分寺に惹かれて移住。同カフェスタッフ、重度障がい介護ヘルパーを細々と続けながら、新人議員として奮闘中。関心テーマは気候危機とジェンダー。ハイキングと日本酒が好き。



新米議員 鈴木ちひろの1年間のあゆみ

議会に届けた市民の声（一般質問のテーマ）



議会後には駅前では議会報告ニュースを配布

6月議会

6月9日～7月3日

はじめての議会、いのちと権利をテーマに質問



詳細はこちら

- ① 有機フッ素化合物（PFAS）の地下水汚染対策を
市の健診でPFAS血液検査項目の追加・土壌の調査
- ② 「気候市民会議」でゼロカーボンシティの実現へ
2030年までに60%のCO2削減・再エネ電力への契約変更（パワーシフト）
- ③ 食育の指針をつくり、あたたかい中学校給食へ
自校方式・親子方式の導入・中学校給食のアレルギー対応
- ④ 入管法改悪反対！ 外国人住民への公共サービスを
在留資格がなくても、医療や教育を受ける権利＝人権がある

9月議会

9月1日～9月28日

地球沸騰化！スピーディーな気候危機対策を



詳細はこちら

- ① 気候正義の視点で考えるゼロカーボンシティへ
2030年までに60%以上のCO2削減・学校の断熱化・エネルギー貧困の支援・
みどりを残そう＆増やそう
- ② 脱プラスチックのまちづくり
マイボトル用給水器の設置・お祭りやイベントでのリユース容器の
活用・プラフリー包装や量り売りの店を応援

12月議会

11月28日～12月19日

エコでフェアで民主的なまちづくりを



詳細はこちら

- ① 市民参加でオープンな市庁舎をつくろう
キッズスペースの設置・夜間休日でも使えるバリアフリートイレ・再生可能エネ
ルギー100%・市民の居場所作り
- ② ジェンダー平等を当たり前に
パートナーシップ制度の拡充・同性カップルが賃貸住宅に入りやすいような
認証制度作り・包括的性教育の推進
- ③ 有機フッ素化合物（PFAS）対策のさらなる前進を
「国分寺市公害防止条例」の適用・知見のある専門家とのワーキンググルー
プを作る・汚染の原因究明

これから取り組みたいテーマ ワード解説



▶ PFAS

有機フッ素化合物の総称。発がん性などが指摘されており、国分寺を含め多摩地域の地下水に含まれる。汚染の原因究明や血液検査の実施、希望者への浄水器・カートリッジの補助など、国や都と連携しつつ、市としてもスピーディーな独自対策を。

▶ 気候危機

人類の経済活動による気温上昇で熱波・洪水などの気候災害が多発すること。昨年までに1.45℃上昇。1.5℃を超えると気候崩壊の可能性もあり将来世代の被害は甚大。国分寺も2050年カーボンゼロをめざすが、再エネ転換・断熱が急がれる。

▶ 脱プラスチック

ペットボトルやプラ包装などプラスチック製品を生産、使用しないこと。日本のプラごみの量はアメリカに次いで世界第2位。国分寺では6月からプラごみ袋の有料化がスタートするが、そもそもプラごみをなくす・減らす仕組みづくりを。

▶ 包括的性教育

従来の性教育ではなく、ジェンダー平等、性の多様性などを含めた幅広い人権教育のこと。ユネスコでは5歳からの実施を推奨。国分寺では助産師やトランスジェンダー当事者による出前授業を行なっている学校もあるが、もっと拡充を。

国分寺市議会 6月議会

6月3日（月）～6月24日（月）

ぜひ市役所まで傍聴へお越しください。

「一般質問※」はオンライン配信もあります。

* 一般質問：年に4回、議会では市政についてなんでも質問できる機会

エネルギー基本計画（エネ基）ってなに？

2024年は気候危機対策の大きな方針となる「エネ基」が見直される重要な年。ともに学び、わたしたち市民にできることを考えましょう！

日時：5月11日（土）13時半～15時

場所：本多公民館・実習室3

講師：川崎彩子さん

（Fridays For Future Tokyo）

Chihiro's Diary



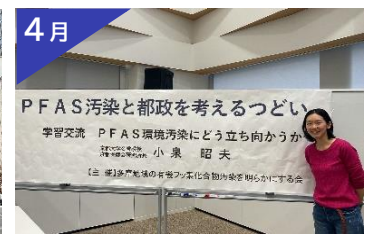
議会報告会を市内3ヶ所で開催



「原発やめよう」スタンディング@国分寺駅



「再開発」を学びに千代田区へ視察



PFASの学習会へ参加